

同時開催

第3弾

両社寺の歴史と兄弟刀



全国天満宮  
総本社

北野天満宮

令和4年7月9日(土) — 9月12日(月)  
〈場所〉北野天満宮宝物殿  
〈時間〉9時〜16時30分(最終受付16時)  
〈拝観料〉大人1,000円 小学生500円

ちようほう

永遠に継ぐ

源氏の重宝

両社寺にて  
拝観の方に  
特製カード  
進呈!



旧嵯峨御所  
大本山

大覚寺

令和4年7月9日(土) — 9月12日(月)  
〈場所〉大覚寺霊宝館  
〈時間〉9時15分〜16時45分(最終受付16時15分)  
〈拝観料〉大人1,000円 小中高生800円 ※参拝料含む

第47回 京の夏の旅

安井堂大井「雲龍図」

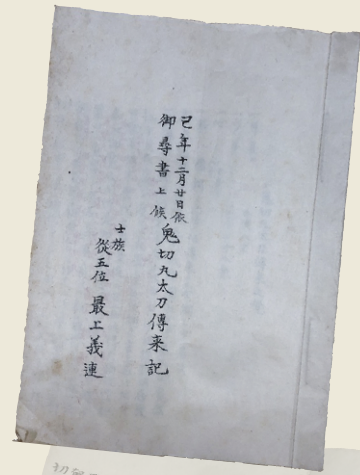
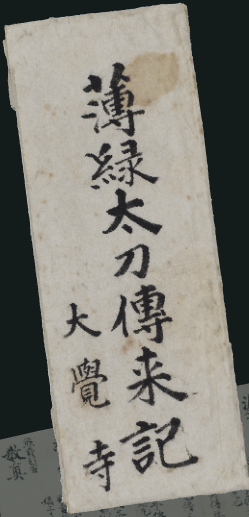
※社会情勢により内容に変更の生じる場合があります。おでかけ前にHP等の公式情報をご確認ください。

# 薄緑

# 髭切丸

# 永遠に継ぐ 源氏の重宝

# 鬼切丸



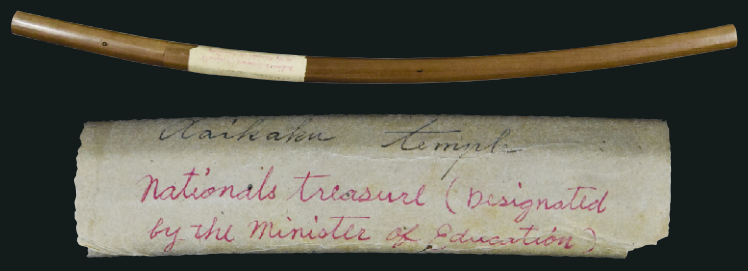
この度の特別展では、困難な時代によりつつも源氏の重宝を守り伝えてきた人々の思いにも注目したいと考えています。

また併せて北野天満宮では海北友松による《雲龍図屏風》を、大覚寺では安井堂天井の《雲龍図》をご覧いただけます。

この度も両社寺同時開催となります。各社寺拝観特典もご用意しておりますので、合わせてお楽しみいただけます。ぜひ幸いです。

北野天満宮と大覚寺の歴史を繙く特別展の第3弾は、源氏の重宝として伝来した兄弟刀《鬼切丸 別名髭切》と《薄緑 別名膝丸》の伝説に加えて、現代へといたる近代の二振りならびに両社寺の歴史についても繙きます。両刀は、源満仲により兄弟刀として鍛えられたのち、源氏の棟梁源頼朝とその弟源義経により所持されていたと伝わります。また二振りの白鞘には、それぞれ戦後GHQによって行われた刀狩りの際に付けられた英文のラベルが付されており、両社寺にはGHQに提出した書類も残されています。

## 「源頼朝、義経ゆかりの兄弟刀、同時公開！」



戦後GHQの刀狩りの際「薄緑」に付けられた英文のラベル



戦後GHQの刀狩りの際「鬼切丸」に付けられた英文のラベル

### アクセス

- 嵐電**  
北野白梅町駅  
↑ 約26分  
嵐山駅(嵐山天龍寺前)  
↑ 市バス28号 約9分  
大覚寺
- 阪急**  
北野天満宮  
↓ 市バス203号 約15分  
西院駅  
↓ 約18分  
嵐山駅  
↓ 市バス28号 約13分  
大覚寺
- 市バス**  
北野天満宮  
↑ 203号 約8分  
西ノ京円町(JR円町駅)  
↑ 91号 約30分  
大覚寺
- タクシー**  
北野天満宮  
↑ 約30分(2,000~2,500円)  
大覚寺

